

(様式4)

情報公開文書

課題名 :急性骨髄性白血病患者における寛解導入療法施行前の骨格筋断面積および骨格筋の質が有害事象の発生に与える影響

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2026年3月31日

1. 研究の対象

2009年4月～2023年5月に当院で急性骨髄性白血病に対して寛解導入療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

本研究は、急性骨髄性白血病で寛解導入療法を受けられた患者さんの、治療を始める前の筋肉の断面積と筋肉の質(筋肉の中に脂肪などがどのくらい含まれるか)が、治療期間中の有害事象(健康上の問題や病気など)の発生に関係しているかを調査し、明らかにすることを目的としています。

本研究によって、治療を始める前の筋肉の断面積と筋肉の質が有害事象の発生に影響を与えていることが明らかになれば、治療期間中に有害事象が発生する患者さんを予測することができ、そのように筋肉の断面積や筋肉の質において一定のリスクのある患者さんに対して、どのような医学的アプローチが有効か今後検討していく一助になると考えられます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 病歴、治療歴、年齢、性別、栄養状態、有害事象の発生状況、CT検査の画像、入院日数、投薬状況等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者及び試料や情報の提供先である中神孝幸が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター リハビリテーション技術科 中神 孝幸(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)

2023年5月28日作成